

1. 関連計画

(1) 第5次環境基本計画（平成30年4月閣議決定）

<現状・課題認識>

- 我が国が抱える環境・経済・社会の課題は相互に関連・複雑化
- SDGs、パリ協定等、時代の転換点ともいえる国際的潮流



<持続可能な社会に向けた基本的方向性>

- SDGsの考え方も活用し、環境・経済・社会の統合的向上を具体化
 - ・環境政策による、経済社会システム、ライフスタイル、技術などあらゆる観点からのイノベーション創出や、経済・社会的課題の同時解決に取り組む
 - ・将来にわたって質の高い生活をもたらす「新たな成長」につなげていく地域資源を持続可能な形で活用
 - ・各地域が自立・分散型の社会を形成し、地域資源等を補完し支え合う「地域循環共生圏」の創造を目指す
- 幅広い関係者とのパートナーシップを充実・強化
⇒これらを通じて、持続可能な循環共生型の社会（「環境・生命文明社会」）を目指す

地域循環共生圏

- 各地域がその特性を生かした強みを発揮
- 地域資源を活かし、自立・分散型の社会を形成
- 地域の特性に応じて補完し、支え合う



<施策の展開>

- 分野横断的な6つの「重点戦略」（経済、国土、地域、暮らし、技術、国際）を設定
- 環境リスク管理等の環境保全の取組は、「重点戦略を支える環境政策」として揺るぎなく着実に推進

(2) 首相による脱炭素社会を目指す宣言（令和 2 年 10 月）

<首相による宣言>

2020 年 10 月 26 日、第 203 回臨時国会の所信表明演説において、菅義偉内閣総理大臣は「2050 年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち 2050 年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言した。

<国・地方脱炭素実現会議による地域脱炭素ロードマップの策定>

国と地方の協働・共創による地域における 2050 年脱炭素社会の実現に向けて、「国・地方脱炭素実現会議」を令和 2 年 12 月から開催しており、「地域脱炭素ロードマップ」を令和 3 年 5 月から 6 月頃を目途に策定する予定としている。

<地域脱炭素ロードマップ策定の趣旨と目的>

- 2050 年までに脱炭素社会実現を目指すとの宣言は、我が国に対する国際社会の評価に大きな好影響をもたらしているが、これは決して 30 年後の話ではない。私たち自身が今から何を実行すべきかの決断と実行 が迫られており、これにより、我が国の本気度に対する国際的な評価も決まってくる。
- この強い危機感・決意のもと、本会議では、地域の取組と国民のライフスタイルに密接に関わる主要分野（詳細は裏面）において、国と地方とが協力して、2050 年までに、脱炭素で、かつ持続可能で強靱な活力ある地域社会を実現する行程（地域脱炭素ロードマップ）を描く。
 - (1) 今後 5 年程度を集中期間とする対策強化
 - ①イノベーションの成果を待たず、既存技術でできる有効な重点対策のメニューを示し、全国津々浦々で実施
 - ②既存技術のパッケージ導入により、一定の限定的な範囲や排出源で脱炭素を実現したモデルケース を複数創出
 - (2) 2050 年に向けた地域の脱炭素ドミノの拡大
 - モデルケースからスタートした 脱炭素ドミノを、2030 年までにできるだけ多く実現
 - その後、ドミノをより広域に拡大。地域間連携やイノベーション技術・システムの実装により、全体の脱炭素を完遂
- ロードマップの内容のうち、直ちにできることは直ちに実践していくとともに、地球温暖化対策計画、長期戦略や成長戦略実行計画、温暖化対策法に基づく地方公共団体実行計画等、そのほか法制度などの各種施策に反映しつつ、国・自治体・地域企業等が一丸となって速やかに実践に移す。

※ロードマップが対象とする地域の取組と国民のライフスタイルに密接に関わる主要分野

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| ①地域のエネルギーや資源の地産地消 | ②住まい |
| ③まちづくり・地域交通 | ④公共施設をはじめとする建築物・設備 |
| ⑤生活衛生インフラ | ⑥農山漁村・里山里海 |
| ⑦働き方、社会参加 | ⑧地域の脱炭素を支える各分野共通の基盤・仕組み |

(3) 第5次愛知県環境基本計画（令和3年2月）

<計画の基本目標>

【目標】SDGs 達成に向け、環境を原動力に経済・社会が統合的に向上する「環境首都あいち」

【目指すべき姿】

- 環境の各分野の統合的向上 ⇒日本一環境にやさしいあいち
- 環境と経済の統合的向上 ⇒環境と経済成長が好循環しているあいち
- 環境と社会の統合的向上 ⇒地域が活性化している魅力あるあいち

【目標の実現に向けた考え方】

- 複数の課題の統合的解撤
- 新たな課題への的確・迅速な対応
- 「行動する人づくり」の推進
- 連携・協働による施策の展開

<環境施策の方向及び指標>

【地球温暖化対策】

1 徹底した省エネルギーの促進	《重点施策》
2 再生可能エネルギー等の導入拡大の促進	●再生可能エネルギーの導入拡大・徹底した省エネルギーの促進と環境産業の振興
3 環境と調和した自動車利用	
4 水素の利用拡大	●次世代自動車の普及拡大
5 フロン類対策の促進	
6 温室効果ガスの吸収源対策の推進	
7 気候変動への適応（適応策）	

【自然との共生】

1 野生生物の促進と適正管理	《重点施策》
2 生態系ネットワークの形成	●「あいち方式 2030」推進プラットフォームの構築
3 生態系サービスの持続可能な利用	
4 生物多様性の主流化の取組強化	

【資源循環】

1 地域循環圏づくりの推進	《重点施策》
2 あらゆる場面での 3R の促進	●地域循環圏づくり
3 廃棄物の適正処理と監視体制の徹底	●プラスチックごみゼロ
4 廃棄物処理施設の整備の促進	●食品ロス削減

【安全・安心の確保】

1 良好な大気環境の保全	《重点施策》
2 良好な水循環の保全、健全な水循環の再生	●海域の生物多様性や水産資源の生産性を考慮した水質改善
3 良好な土壌環境・地盤環境の保全	
4 騒音、振動、悪臭の防止	
5 化学物質等による環境汚染の防止	
6 観光面からの防災・減災力の強化	
7 環境保全の基盤となる施策の推進	

【行動する人づくり】

1 誰もが学べる環境づくり	《重点施策》
2 主体間や世代間の学び合い・育ち合い	●SDGs の普及促進
3 自主的な環境配慮行動等の促進	●誰もが学べるあいちの環境学習による人材育成と自主的取組
4 SDGs の普及促進	

(4) ながくて未来図(第6次長久手市総合計画)(平成31年3月)

<将来像>

幸せが実感できる 共生のまち ~そして、物語が生まれる~

<基本目標・政策>

○人づくり - 「やってみたい」でつながるまち

- 1 地域共生を支える人づくり
- 2 「やってみたい」を実現できる仕組みづくり

○子ども - 子どもが元気に育つまち

- 1 妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援
- 2 子どもを通じて育て合い育ち合うまちづくり
- 3 子どもの健やかな成長を支える環境の整備

○自然環境 - みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝箱

- 1 万博理念を継承した自然との共生

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">①豊かな自然環境の保全・活用②自然に愛着を持つ地域づくりの推進③まちの緑の創出④水辺に親しめる環境の整備 |
|---|

- 2 農あるくらしの推進

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">①農の活性化に向けた支援②農の多様な担い手の育成 |
|---|

- 3 地球にやさしい持続可能な社会の構築

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">①くらしの低炭素化の推進②ごみの減量化・資源化 |
|--|

○生活 - 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

- 1 住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり
- 2 地域の課題をみんなで解決
- 3 いくつになっても元気でいきいきと輝けるくらしの推進

○交流 - いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪

- 1 まちの資源を生かした市民同士の交流の促進
- 2 観光交流まちづくりの推進

○都市経営 - あえて歩いてみたくなるまち

- 1 外出しやすい環境の整備
- 2 暮らして心地よい生活環境の形成

○市政運営 - 市民から信頼される市政の運営

- 1 効果的かつ効率的な市政運営
- 2 柔軟な市政に向けた仕組みづくり

<主要な施策の方向性>

- 1 一人ひとりに生きがいがあり、元気で活躍できるまちづくり
- 2 多様な人がつながり、支え合うまちづくり
- 3 緑あふれる潤いのあるまちづくり

<「市民主体のまちづくり」の実現に向けて>

- 1 市民が「知り合う」きっかけをつくる
- 2 概ね小学校区単位での「顔の見えるまちづくり」
- 3 市民に役割を担ってもらう

2. 市民アンケート調査結果

「調査の概要」

【調査趣旨】 第4次環境基本計画の策定に向けて、長久手市民の環境に対する意識・関心・行動の状況について把握し、長久手市における環境施策、環境に関する市民活動及び協働の方向性の検討の材料としていく。

【調査対象】 16歳以上の長久手市民 2,000人（住民基本台帳から無作為抽出）

【調査方法】 郵送による配布回収、調査票への自身での回答記入

【調査期間】 令和元年（2019年）8月1日～20日

【回収状況】 2,000人のうち、不着1人

有効回答数は462人 送付数（1,999人）に対する回答率は23.1%

16歳以上の長久手市民（4月1日現在 47,156人）に対する回答率は0.98%

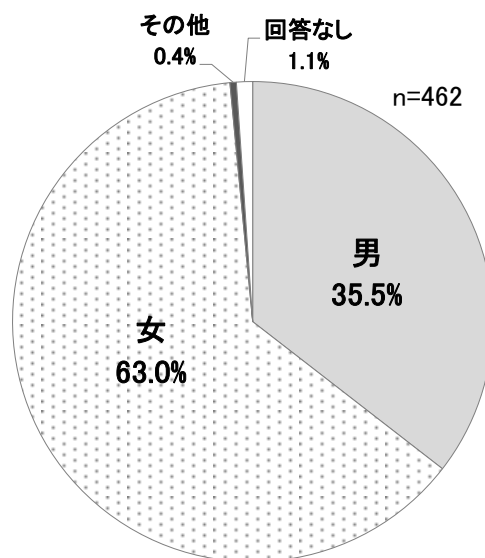
【信頼度・誤差】 信頼度95%において、回答率誤差は最大で±4.54ポイント

「回答者の属性」

（1）性別

「男」の35.5%に対し、「女」は63.0%と27.5ポイント多くなっている。

参考：市民の男女比（4月1日現在）
男 49.5%、女 50.5%

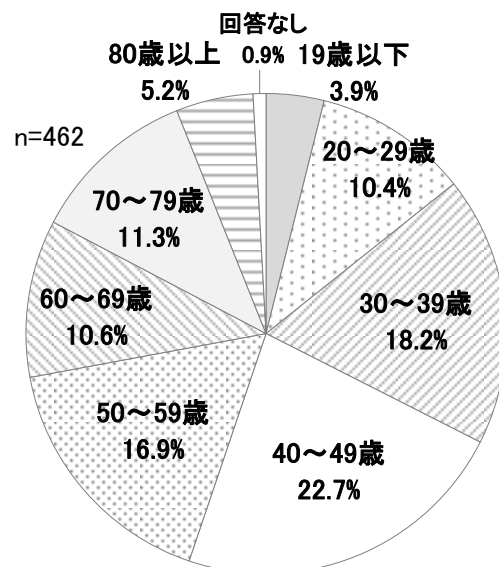


（2）年齢

「40歳代」の回答が最も多く、次いで「50歳代」「30歳代」が多くなっており、概ね各年代からバランスよく回答を得られている。

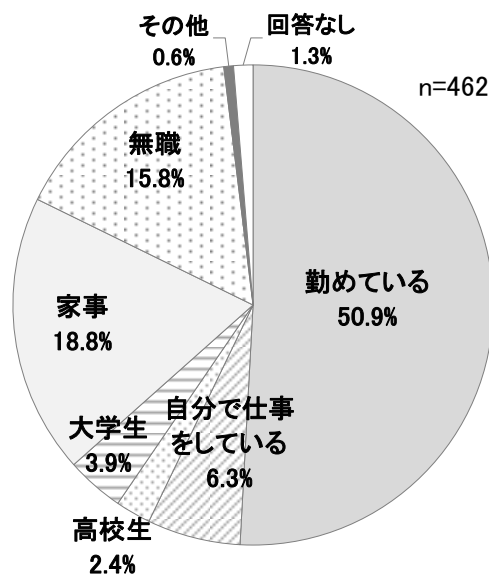
参考：市民の16歳以上の年齢構成（4月1日現在）

19歳以下：5.2%	20～29歳：13.5%
30～39歳：18.9%	40～49歳：22.1%
50～59歳：14.7%	60～69歳：10.9%
70～79歳：9.5%	80歳以上：5.2%



(3) 主な仕事などの状況

「勤めている」が約半数であり、次いで「家事」「無職」が多くなっている。

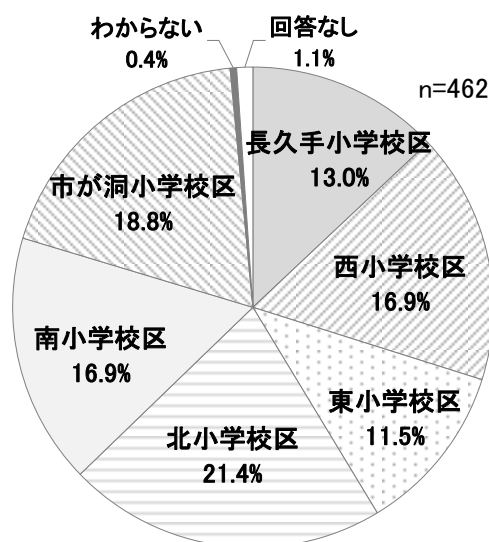


(4) 居住小学校区

概ね各小学校区からバランスよく回答が得られている。

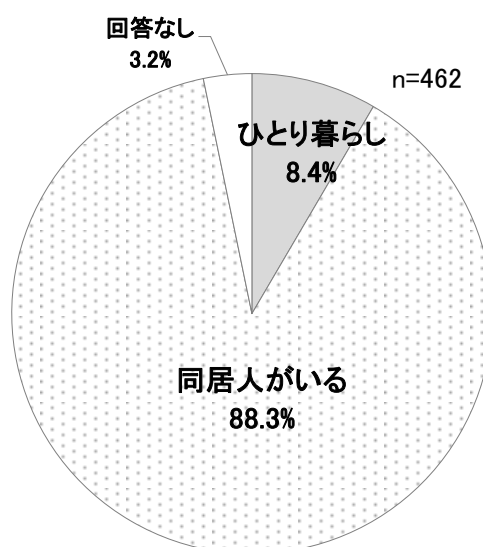
参考：市民の16歳以上の年齢構成（4月1日現在）

長久手小学校区：14.4%
 西小学校区：13.6%
 東小学校区：8.7%
 北小学校区：21.5%
 南小学校区：18.8%
 市ヶ洞小学校区：19.6%
 重複学区：3.4%



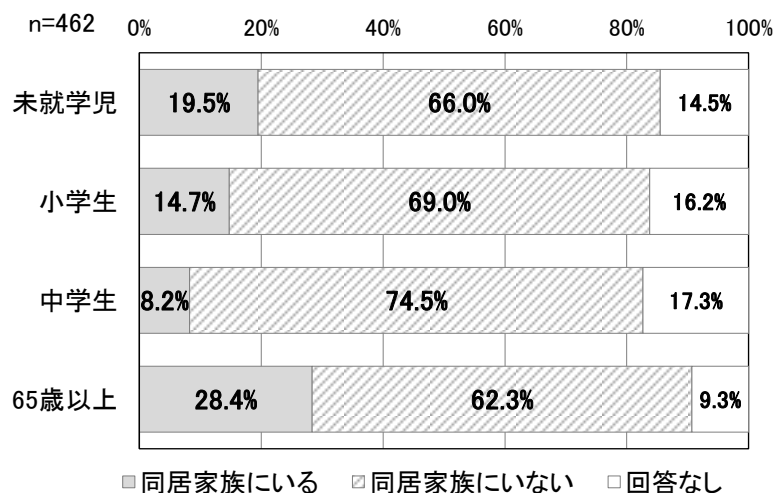
(5) 同居人の有無

「同居人がいる」がほとんどであり、「ひとり暮らし」は8.4%である。



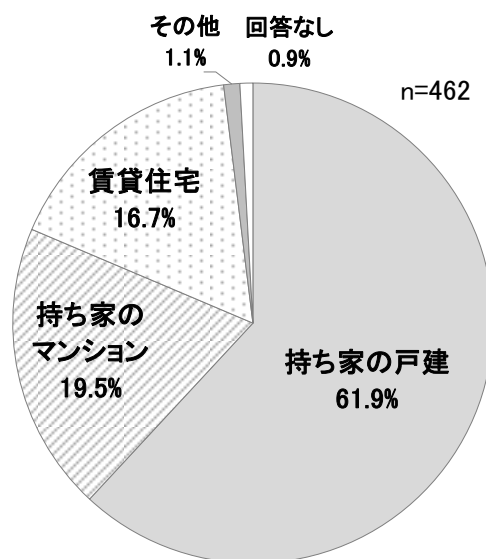
（６）同居家族の状況

「未就学児」がいる人は19.5%、「小学生」がいる人は14.7%、「中学生」がいる人は8.2%、「65歳以上」がいる人は28.4%である。



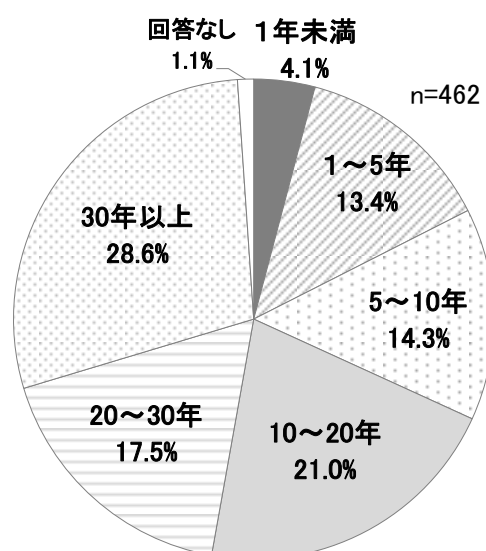
（７）住宅の状況

「持ち家の戸建」が61.9%と最も多く、次いで「持ち家のマンション」「賃貸住宅」が多くなっている。



（８）長久手市での居住年数（通算）

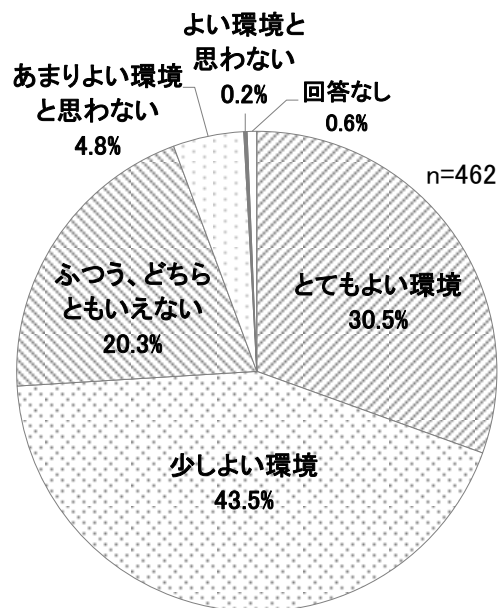
「30年以上」が最も多く、次いで「10～20年」「20～30年」が多くなっている。



A. 長久手市の環境の状況や取組に対する評価

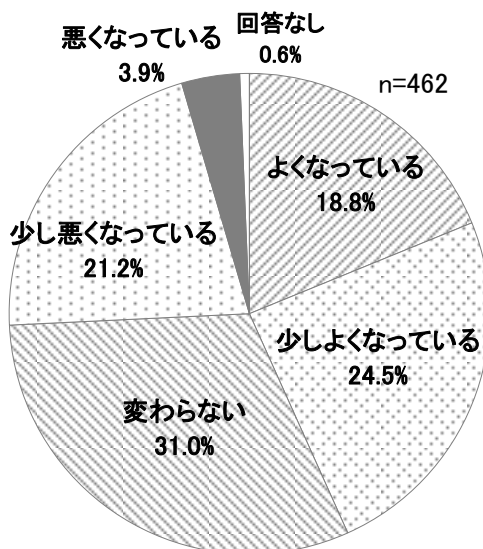
(1) 長久手市の現在の環境の評価

「とてもよい環境」30.5%、「少し良い環境」43.5%、あわせて74.0%の人が長久手市の環境を肯定的に評価している。



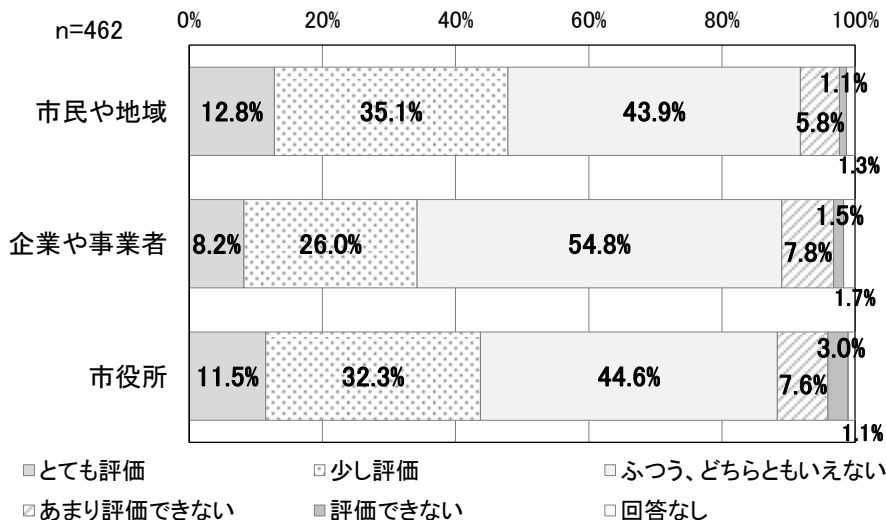
(2) 長久手市の最近の環境の変化の評価

「よくなっている」18.8%、「少しよくなっている」24.5%、あわせて43.3%の人がよくなっている方向の評価をしているが、一方で「変わらない」が31.0%、「少し悪くなっている」21.2%、「悪くなっている」3.9%、あわせて25.1%の人が悪くなっている方向の評価をしている。



(3) 「市民や地域」「企業や事業者」「市役所」の取組の評価

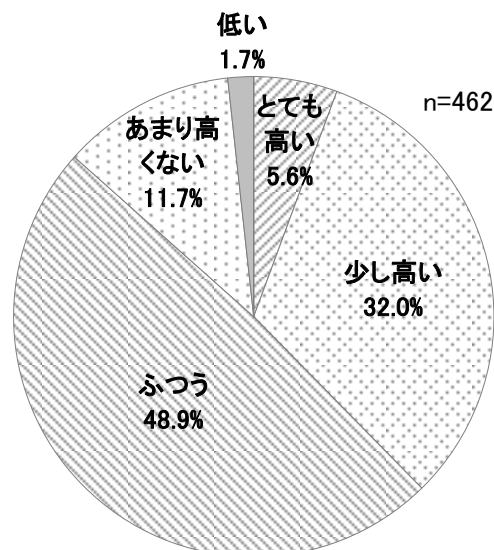
「とても評価」「少し評価」の合計は、「市民や地域」が47.9%、「市役所」が43.8%と比較的高くなっている一方で、「企業や事業者」は34.2%とやや低くなっている。



B. 環境に対する自身の意識や行動

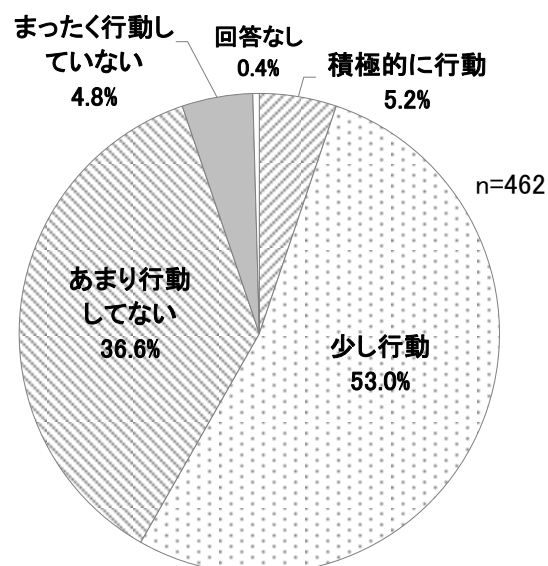
(1) 環境に対する意識

「とても高い」5.6%、「少し高い」32.0%、あわせて37.6%の人は意識が高いが、「あまり高くない」11.7%、「低い」1.7%、あわせて13.4%の人は意識が高くないと回答している。



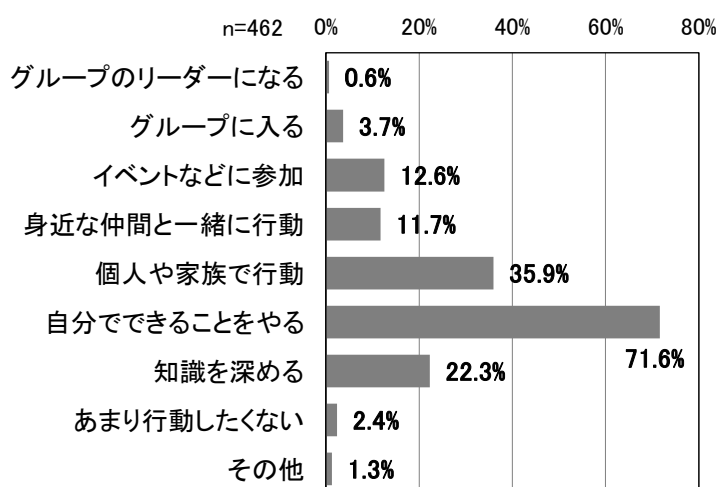
(2) 環境を守ったりよくするための行動を日頃しているか

「積極的に行動」5.2%、「少し行動」53.0%、あわせて58.2%の人は行動しているが、「あまり行動していない」36.6%、「まったく行動していない」4.8%、あわせて41.4%の人が行動していないと回答している。



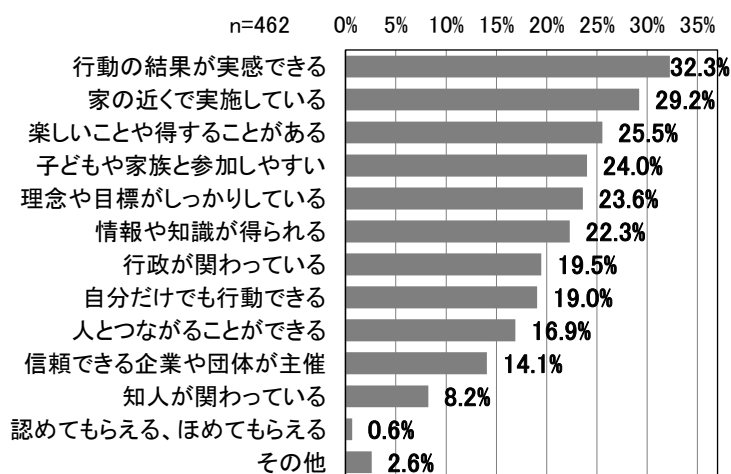
(3) 環境を守ったりよくするための行動にどのように関わっていきたいか（複数回答）

「自分でできることをやる」が71.6%と圧倒的に多く、次いで「個人や家族で行動」35.9%、「知識を深める」22.3%となっている。



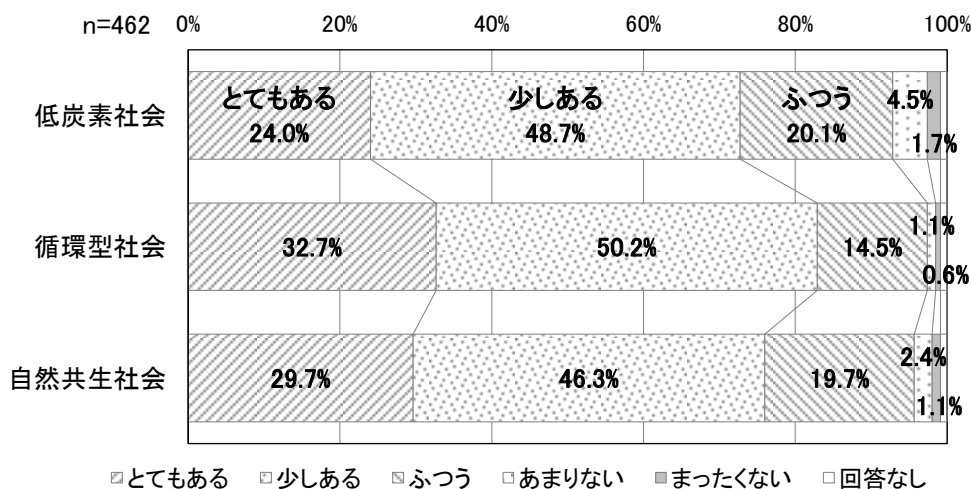
（４）環境に関するイベントなどに参加しようと思う条件（複数回答）

「行動の結果が実感できる」が32.3%と最も多い一方で、「家の近くで実施している」「楽しいことや得することがある」「子どもや家族と参加しやすい」などの参加しやすさに対する回答も多い。



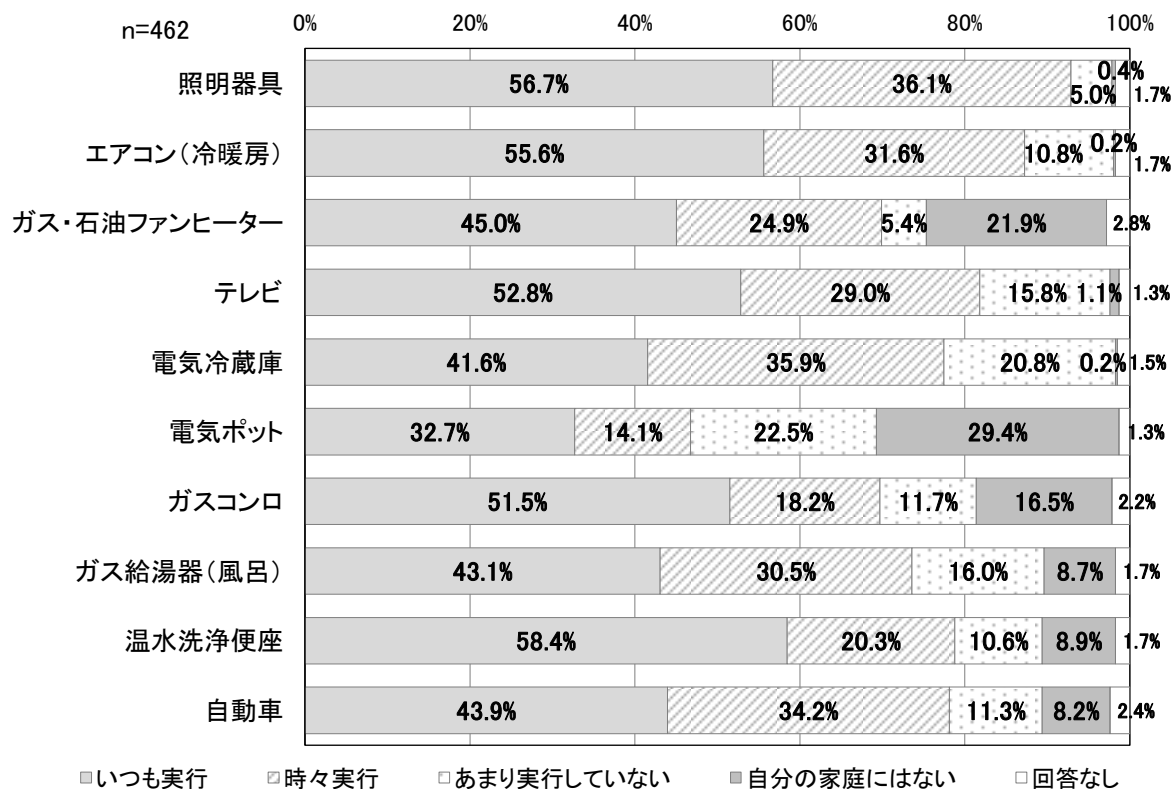
C. 環境の各テーマに関する興味・関心の有無

「とてもある」「少しある」をあわせた興味・関心の有無は、「循環型社会」が82.9%と最も多く、次いで「自然共生社会」が76.0%、「低炭素社会」が72.7%となっている。



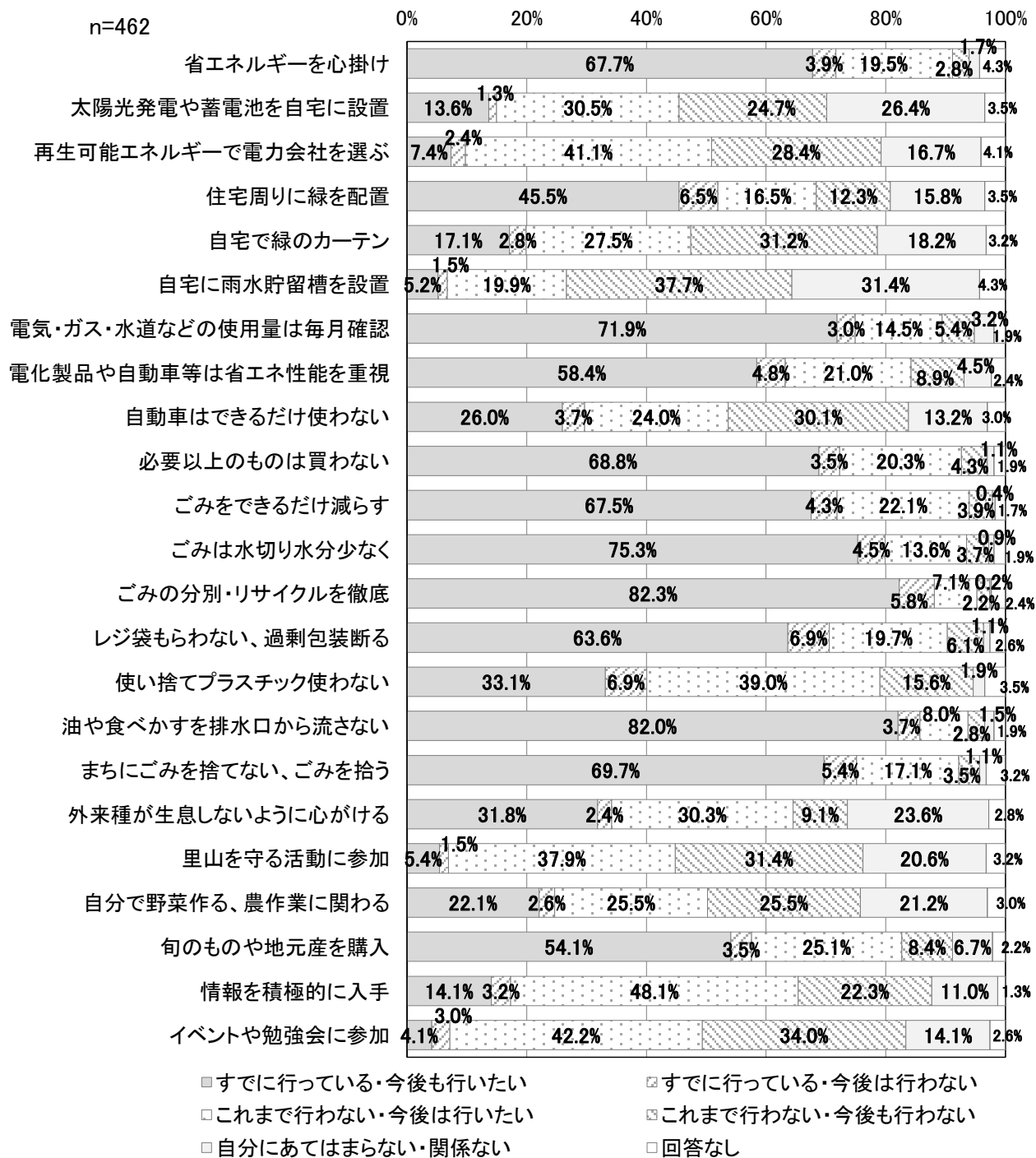
D. 日常生活における省エネ行動の実施状況

「いつも実行」「時々実行」をあわせた実行率は、「照明器具」にすることが 92.8%と最も多く、次いで「エアコン（冷暖房）」が 87.2%、「テレビ」が 81.8%、「温水洗浄便座」が 78.7%、「自動車」が 78.1%、「電気冷蔵庫」が 77.5%と多くなっている。



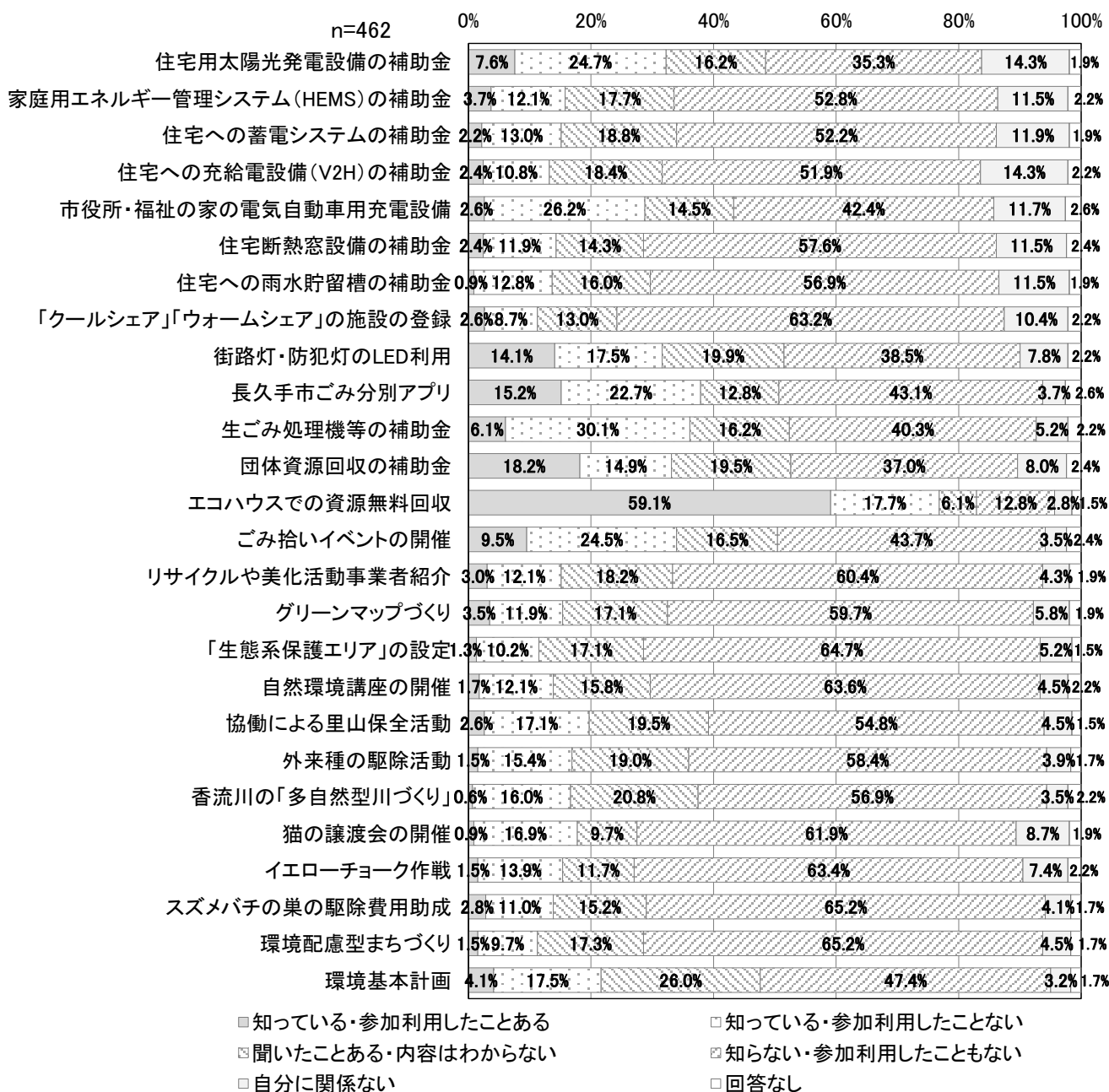
E. 環境に貢献する取組の実施状況

「すでに行っている・今後も行いたい」は「ごみの分別・リサイクルを徹底」「油や食べかすを排水口から流さない」「ごみは水切り水分を少なく」など、ごみに関することが多くなっている。また、「これまで行わない・今後は行いたい」は「自宅に雨水貯留槽を設置」「イベントや勉強会に参加」「里山を守る活動に参加」「自宅で緑のカーテン」「自動車はできるだけ使わない」が多くなっている。



F. 環境に関する長久手市役所の施策・事業の認知・利用の状況

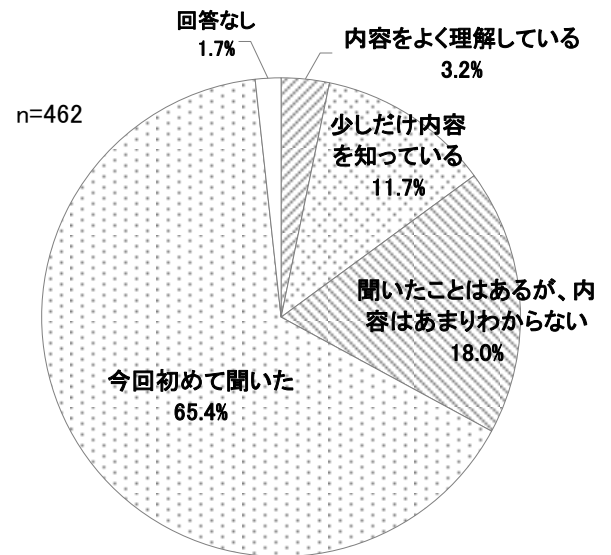
「知っている」の認知度は、「エコハウスでの無料資源回収」が 76.8%と圧倒的に多く、次いで「長久手市ごみ分別アプリ」37.9%、「生ごみ処理機等の補助金」36.2%、「ごみ拾いイベントの開催」34.0%、「団体資源回収の補助金」33.1%と、ごみ関係の施策・事業が多くなっている。また、「参加利用したことがある」も「エコハウスでの無料資源回収」が 59.1%と圧倒的に多く、次いで「団体資源回収の補助金」18.2%、「長久手市ごみ分別アプリ」15.2%、「街路灯・防犯灯のLED 利用」14.1%が多くなっている。



G. 「SDG s」について

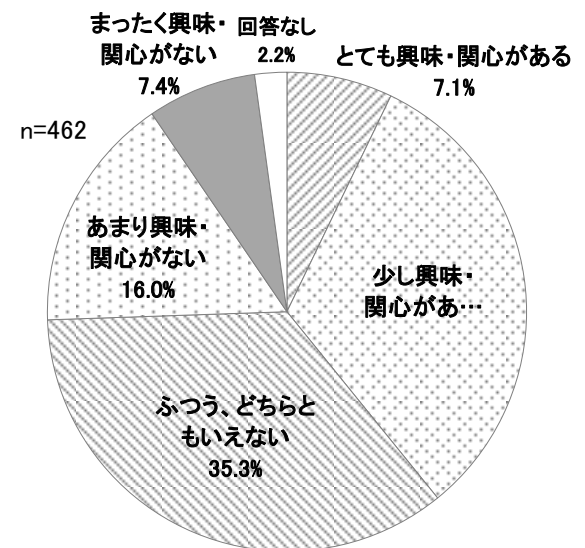
(1) SDG sの認知度

「内容をよく理解している」「少しだけ内容を知っている」をあわせて 14.9%にとまっており、「聞いたことはあるが内容はあまりわからない」は 18.0%、「今回初めて聞いた」は 65.4%と、知らなかった人が多くなっている。



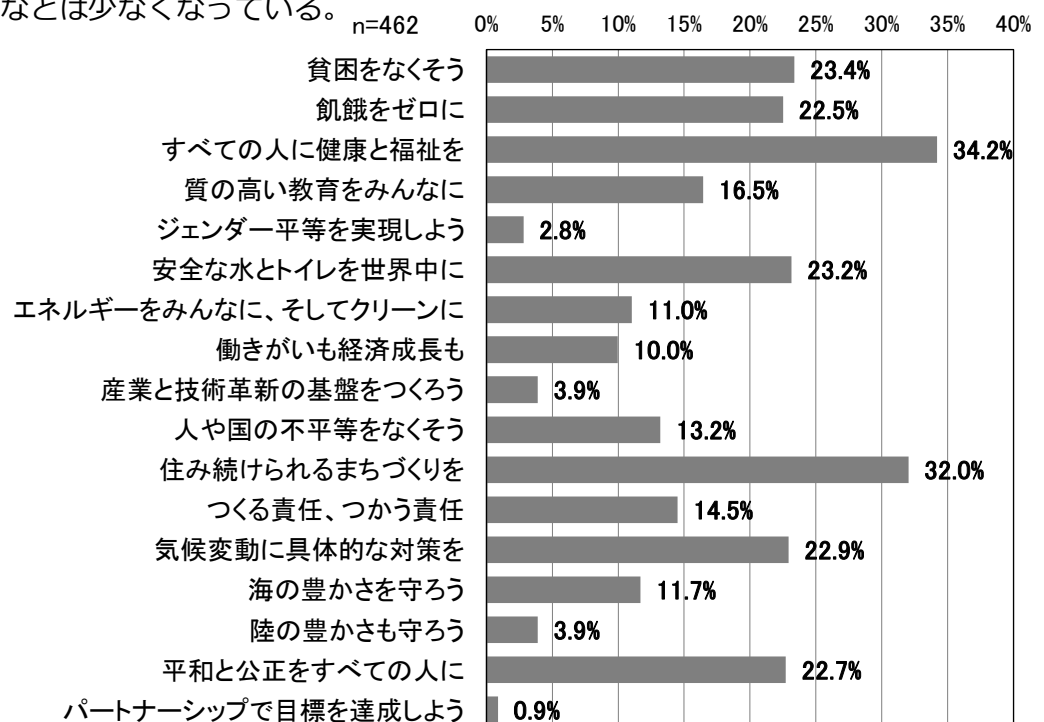
(2) SDG sへの興味・関心

「とても興味・関心がある」「少し興味・関心がある」をあわせて 39.1%であり、「今回初めて聞いた」「聞いたことはあるが内容はあまりわからない」の中でも興味・関心のある人が多いと考えられる。



(3) 17 のゴールのうち大切だと思うもの（複数回答）

「すべての人に健康と福祉を」「住み続けられるまちづくりを」「安全な水とトイレを世界中に」が特に多くなっている。一方で「パートナーシップで目標を達成しよう」「ジェンダー平等を実現しよう」などは少なくなっている。



長久手の環境、地球の環境を守るためのアンケート調査 ～市民の皆さまのご協力をお願いいたします～

日頃から、長久手市政にご理解・ご協力いただきありがとうございます。また、環境保全に対する取組にもご協力いただき、ありがとうございます。

平成 17 年（2005 年）にこの長久手の地で開催された「愛・地球博」は、「自然の叡智」というテーマのもと、地球的課題の解決に貢献し、自然の仕組みと調和した新しい文明を構築することを目指して行われました。長久手市ではこの理念を継承し、都市と農村・自然が共存する地域の個性を生かしながら、市民と一緒に環境を守るため、「長久手環境基本計画」を策定して、様々な取組を行っています。

現在の「長久手環境基本計画」は、平成 28 年（2016 年）に改訂していますが、その後、長久手市の環境を取り巻く状況も変化するとともに、国連において、持続可能な世界を実現するための国際目標である「SDGs」が採択され、長久手市もこの「SDGs」に向けた取組を行い、地球環境に貢献したいと考えています。

これらの動向を踏まえて、令和元年から 2 年にかけて、「長久手環境基本計画」を見直すことになりました。そして、計画の見直しに向けて、市民の皆さんの環境に対するお考えや取組の状況などについてお聞きし、計画の見直しに反映させるために、このアンケート調査を実施することになりました。

お忙しいところ恐れ入りますが、趣旨をご理解いただき、ご協力をよろしくお願いいたします。

令和元年（2019 年）8 月 長久手市長 吉田一平

- 長久手市にお住いの 16 歳以上の方から 2,000 名を抽出してお送りしています。
- この調査の結果は、「長久手環境基本計画」の策定のための資料として活用させていただきます。
- この調査は無記名で行いますので、調査票や返信用封筒には、お名前を記入しないでください。
- 皆さまの回答は、統計的に処理した上で公表させていただきます。一人ひとりの回答をそのまま公表することはありません。
- なお、7 ページには長久手市の「地方創生」に関する質問もあります。
こちらにもご回答をお願いいたします。
- 回答が終わりましたら、この用紙を返信用封筒に入れて、**8 月 20 日（火）**までに郵便ポストに投函してください。
- 内容などについて不明な点がございましたら、下記までお問合せください。
長久手市役所 くらし文化部 環境課 環境係 電話：0561-56-0612



<このアンケートにおける『環境』とは…>

現在の「長久手環境基本計画」では、下の 3 点を基本目標に掲げています。

- ★地球にやさしい「低炭素社会」の構築（省資源、省エネルギー、再生可能エネルギーなど）
- ★ものを粗末にしない・汚さない「循環型社会」の構築（ごみの減量、リサイクルなど）
- ★多様な生物が人と共存する「自然共生社会」の構築（緑や動植物の保全、外来種の駆除など）

このため、このアンケートにおける『環境』という言葉は、主に「低炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」に関するものを指すこととします。

こちらの用紙に回答してください。

【質問1】あなたは、環境に関する長久手市の状況をどのように評価していますか。(それぞれ1つだけに○)

(1) 長久手市の現在の環境

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. とてもよい環境だと思う | 2. 少しよい環境だと思う |
| 3. ふつう、どちらともいえない | 4. あまりよい環境だと思わない |
| 5. よい環境だと思わない | |

(2) 長久手市の最近の環境の変化

- | | | |
|--------------|--------------|----------|
| 1. よくなっている | 2. 少しよくなっている | 3. 変わらない |
| 4. 少し悪くなっている | 5. 悪くなっている | |

(3) 環境を守ったりよくするための長久手市民や地域の取組

- | | | |
|--------------|------------|------------------|
| 1. とても評価できる | 2. 少し評価できる | 3. ふつう、どちらともいえない |
| 4. あまり評価できない | 5. 評価できない | |

(4) 環境を守ったりよくするための長久手市の企業や事業者の取組

- | | | |
|--------------|------------|------------------|
| 1. とても評価できる | 2. 少し評価できる | 3. ふつう、どちらともいえない |
| 4. あまり評価できない | 5. 評価できない | |

(5) 環境を守ったりよくするための長久手市役所の取組

- | | | |
|--------------|------------|------------------|
| 1. とても評価できる | 2. 少し評価できる | 3. ふつう、どちらともいえない |
| 4. あまり評価できない | 5. 評価できない | |

【質問2】あなた自身のこれまでの環境に対する意識・行動はどの程度だと思いますか。(それぞれ1つだけに○)

(1) あなたの環境に対する意識

- | | | |
|---------------|------------|--------|
| 1. とても意識が高い | 2. 少し意識が高い | 3. ふつう |
| 4. あまり意識は高くない | 5. 意識は低い | |

(2) あなたの環境を守ったりよくするための行動

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 積極的に行動している | 2. 少し行動している |
| 3. あまり行動してない | 4. まったく行動していない |

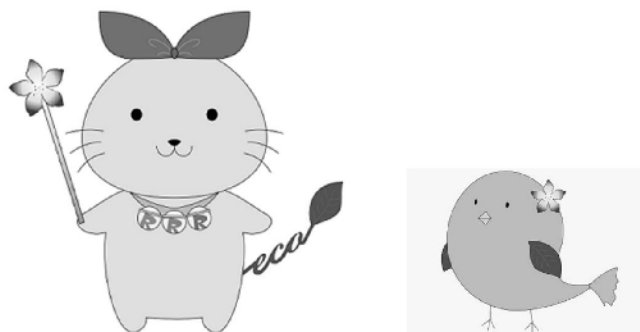
【質問3】あなたは、今後、環境を守ったりよくするための行動にどのように関わっていきたいと思いますか。

(2つまでに○)

1. 環境に関するグループなどのリーダーなどになって行動していきたい
2. 環境に関するグループなどに入って行動したい
3. イベントなどに参加して行動したい
4. 身近な仲間と一緒に行動したい
5. 個人や家族の中で行動したい
6. 自分でできることをやっていく
7. 環境に関する知識を深めたい
8. あまり行動したくない
9. その他 (_____)

【質問4】あなたが環境を守ったりよくするためのイベントやキャンペーンなどに参加しようと思うための必要な条件は何ですか。(3つまでに○)

1. 環境を保全するための理念や目標がしっかりしている
2. 行動の結果として環境がよくなったことが実感できる
3. 信頼できる企業や団体が主催している
4. 長久手市や愛知県などの行政が関わっている
5. 知っている人が関わっている
6. 家の近くで実施している
7. 自分一人だけでも行動できる
8. 行動に参加すると楽しいことや得することがある
9. 他の人に認めてもらえる、ほめてもらえる
10. いろいろな人とつながったり、出会ったりできる
11. 環境に関する情報や知識が得られる
12. 子どもや家族と一緒に参加しやすい
13. その他 (_____)



長久手市ごみ減量キャラクター「あすりー」「すいっとり」

【質問5】下の各分野に対して、あなたはどの程度の興味や関心がありますか。(それぞれ1つだけに○)

(1) 低炭素社会の実現(地球温暖化の防止、省エネルギー、再生エネルギーなど)

- | | | |
|----------------|-----------------|------------------|
| 1. とても興味・関心がある | 2. 少し興味・関心がある | 3. ふつう、どちらともいえない |
| 4. あまり興味・関心がない | 5. まったく興味・関心がない | |

(2) 循環型社会の実現(ごみ減量、リサイクル、プラスチック排出抑制、食品ロス削減など)

- | | | |
|----------------|-----------------|------------------|
| 1. とても興味・関心がある | 2. 少し興味・関心がある | 3. ふつう、どちらともいえない |
| 4. あまり興味・関心がない | 5. まったく興味・関心がない | |

(3) 自然共生社会の実現(緑・湿地・動植物の保全、生物多様性、外来種の侵入防止など)

- | | | |
|----------------|-----------------|------------------|
| 1. とても興味・関心がある | 2. 少し興味・関心がある | 3. ふつう、どちらともいえない |
| 4. あまり興味・関心がない | 5. まったく興味・関心がない | |

【質問6】あなたの家庭において、下に掲げる省エネの取組を日ごろしていますか。

((1)～(10)について、それぞれ1つずつに○)

	いつも実行している	時々実行している	あまり実行していない	自分の家庭にはない
(1) 照明器具 (省エネ型の電球・LEDに替える、必要な時だけつける、など)	1	2	3	4
(2) エアコン(冷房・暖房) (温度調整に配慮している、必要な時だけつける、など)	1	2	3	4
(3) ガス・石油ファンヒーター (温度調整に配慮している、必要な時だけつける、など)	1	2	3	4
(4) テレビ (見ない時は消す、省エネモードにしている、など)	1	2	3	4
(5) 電気冷蔵庫 (詰め込みすぎない、無駄に開閉しない、設定温度を適切に、など)	1	2	3	4
(6) 電気ポット (長時間使用しないときはプラグを抜く、など)	1	2	3	4
(7) ガスコンロ (炎が鍋底からはみ出さないように調節する、など)	1	2	3	4
(8) ガス給湯器(お風呂) (シャワーを流したままにしない、入浴間隔はあけない、など)	1	2	3	4
(9) 温水洗浄便座 (設定温度を低くする、使わないときはフタをしめる、など)	1	2	3	4
(10) 自動車 (ふんわりアクセル、アイドリングストップなどのエコドライブ、など)	1	2	3	4

【質問7】あなたは、環境に貢献する下のことについて行っていますか、また、今後行いたいと思いますか。

((1)～(23)について、それぞれ1つずつに○)

	自分にはあてはまらない 関係ないことである	これまで行ったことがなく 今後も行いたいと思わない	これまで行ったことはないが 今後は行いたいと思う	すでに行っているが 今後は行いたいと思わない	すでに行っている 今後も行いたいと思う
<低炭素社会の実現>					
(1) 省エネルギーを心掛けている					
(2) 太陽光発電や家庭用蓄電池を自宅に設置している					
(3) 再生可能エネルギーの比率で電力会社を選んでいる					
(4) 住宅の周りは積極的に緑を配置している					
(5) 自宅で緑のカーテンを行っている					
(6) 自宅に雨水貯留槽を設置している					
(7) 電気・ガス・水道などの使用量は毎月確認する					
(8) 電化製品や自動車等は省エネ性能を重視して選ぶ					
(9) 自動車はできるだけ使わない					
<循環型社会の実現>					
(10) 必要以上のものは買わない					
(11) ごみをできるだけ減らす					
(12) ごみは水切りしたり、水分を少なくして出す					
(13) ごみの分別・リサイクルを徹底している					
(14) レジ袋はもらわない、過剰な包装は断る					
(15) 使い捨てのプラスチックを使わない					
(16) 油や食べかすを排水口から流さない					
(17) まちにごみを捨てない、まちのごみを拾う					
<自然共生社会の実現>					
(18) 外来種が生息しないように心がけている					
(19) 里山を守るための活動に参加している					
(20) 自分で野菜などを作っている、農作業に関わっている					
(21) 旬のものや地元産のものを購入するようにしている					
<その他・全体>					
(22) 環境に関する情報を積極的に入手している					
(23) 環境に関するイベントや勉強会に参加している					

その他、あなたが日ごろ取り組んでいる環境のための行動がありましたら、お書きください。

--

【質問8】あなたは、長久手市が行っている下の取組について知っていますか、また、利用したり活用したりしたことはありますか。

((1)～(26)について、それぞれ1つずつに○)

	知っている 参加したり利用したことがある	知っているが 参加したり利用したことはない	聞いたことはあるが 内容はよくわからない	知らない 参加したり利用したこともない	自分には関係ないことである
<低炭素社会の実現>					
(1) 住宅用太陽光発電設備の設置に対する補助金	1	2	3	4	5
(2) 家庭用エネルギー管理システム（HEMS）の設置に対する補助金	1	2	3	4	5
(3) 住宅への蓄電システムの設置に対する補助金	1	2	3	4	5
(4) 住宅への電気自動車等の充電設備（V2H）の設置に対する補助金	1	2	3	4	5
(5) 市役所・福祉の家への電気自動車用充電設備の設置	1	2	3	4	5
(6) 住宅の断熱窓設備の設置に対する補助金	1	2	3	4	5
(7) 住宅への雨水貯留槽の設置に対する補助金	1	2	3	4	5
(8) 「クールシェア」「ウォームシェア」の施設の登録	1	2	3	4	5
(9) 街路灯や防犯灯におけるLED電球の利用	1	2	3	4	5
<循環型社会の実現>					
(10) 「長久手市ごみ分別アプリ」の配信	1	2	3	4	5
(11) 生ごみ処理機等の購入に対する補助金	1	2	3	4	5
(12) 子ども会などの団体の資源回収に対する補助金	1	2	3	4	5
(13) ながくてエコハウスでの資源の無料回収	1	2	3	4	5
(14) 「愛・Nクリーン」等のごみ拾いイベントの開催	1	2	3	4	5
(15) リサイクルや美化活動に取り組む事業者の紹介	1	2	3	4	5
<自然共生社会の実現>					
(16) 小学生と大学生によるグリーンマップづくり	1	2	3	4	5
(17) 貴重な生き物を守る「生態系保護エリア」の設定	1	2	3	4	5
(18) 自然環境講座の開催	1	2	3	4	5
(19) 市民協働による里山の保全活動	1	2	3	4	5
(20) 外来種の動植物を駆除する活動	1	2	3	4	5
(21) 香流川の「多自然型川づくり」による整備	1	2	3	4	5
<その他・全体>					
(22) 猫の新しい飼い主を探すための譲渡会の開催	1	2	3	4	5
(23) 犬のフン対策としてのイエローチョーク作戦	1	2	3	4	5
(24) スズメバチの巣の駆除費用に対する助成	1	2	3	4	5
(25) 公園西駅周辺における「環境配慮型まちづくり」	1	2	3	4	5
(26) 長久手市が「環境基本計画」を作っていること	1	2	3	4	5

【質問 9】「SDG s」についてお聞きます。

<SDG s とは……>

SDG s（持続可能な開発目標）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。SDGsは国だけではなく、地方自治体、企業、市民など、様々な主体が積極的に取り組んでいます。



(1) あなたは「SDG s」について知っていますか。(1つだけに○)

- | | |
|--------------------------|-----------------|
| 1. 内容をよく理解している | 2. 少しだけ内容を知っている |
| 3. 聞いたことはあるが、内容はあまりわからない | 4. 今回初めて聞いた |

(2) あなたは「SDG s」について興味・関心がありますか。(1つだけに○)

- | | | |
|----------------|-----------------|------------------|
| 1. とても興味・関心がある | 2. 少し興味・関心がある | 3. ふつう、どちらともいえない |
| 4. あまり興味・関心がない | 5. まったく興味・関心がない | |

(3) 「SDG s」には世界共通の17のゴール（目標）が定められています。17のゴールのうち、あなたが大切だと思うものは何ですか。(3つまでに○)

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1. 貧困をなくそう | 2. 飢餓をゼロに |
| 3. すべての人に健康と福祉を | 4. 質の高い教育をみんなに |
| 5. ジェンダー平等を実現しよう | 6. 安全な水とトイレを世界中に |
| 7. エネルギーをみんなに、そしてクリーンに | 8. 働きがいも経済成長も |
| 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう | 10. 人や国の不平等をなくそう |
| 11. 住み続けられるまちづくりを | 12. つくる責任、つかう責任 |
| 13. 気候変動に具体的な対策を | 14. 海の豊かさを守ろう |
| 15. 陸の豊かさを守ろう | 16. 平和と公正をすべての人に |
| 17. パートナリーシップで目標を達成しよう | |

【質問 10】長久手市や地球全体の環境を守ることに対するご意見・ご提案がありましたら、お書きください。

※質問 11 から質問 14 は別計画に関する質問なので、掲載は省略

【質問 15】最後に、あなた自身について教えてください。(それぞれ1つだけに○)

(1) 性別

1. 男	2. 女	3. その他
------	------	--------

(2) 年齢

1. 19歳以下	2. 20～29歳	3. 30～39歳	4. 40～49歳
5. 50～59歳	6. 60～69歳	7. 70～79歳	8. 80歳以上

(3) 仕事などの状況 (いくつか該当する方は、最も中心となるものに○をつけてください)

1. 勤めている	2. 自分で仕事をしている	3. 高校生	4. 大学生
5. 家事	6. 無職	7. その他 (_____)	

(4) お住いの場所の小学校区

1. 長久手小学校区	2. 西小学校区	3. 東小学校区
4. 北小学校区	5. 南小学校区	6. 市が洞小学校区
7. わからない (字・町名をお書きください _____)		

(5) 同居している家族などの状況 (アからオについて、それぞれ、1または2のどちらかに○)

ア) 小学校入学前の子ども	1. 同居家族にいる	2. 同居家族にいない
イ) 小学生	1. 同居家族にいる	2. 同居家族にいない
ウ) 中学生	1. 同居家族にいる	2. 同居家族にいない
エ) 65歳以上の人	1. 同居家族にいる	2. 同居家族にいない
オ) ひとり暮らし	1. ひとり暮らしである	2. 同居人がいる

(6) 現在住んでいる住宅の種類

1. 持ち家の戸建	2. 持ち家のマンション	3. 賃貸住宅
4. 寮・社宅・施設	5. その他 (_____)	

(7) 長久手市に住んでいる年数 (一度転出した人は、合計の年数)

1. 1年未満	2. 1～5年	3. 5～10年
4. 10～20年	5. 20～30年	6. 30年以上

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

この用紙を返信用封筒に入れて、**8月20日(火)**までに郵便ポストに投函してください。

3. 計画の策定経過

計画の策定にあたっては、市民アンケートを実施したほか、長久手市環境審議会、市民ワークショップ、職員ワークショップでの検討を行い、計画の最終案に対してはパブリックコメントを実施しました。計画の策定経過は以下の通りです。

年	月日	取組	議題・内容等
令和元年 (2019)	7月25日	市長から環境審議会会長へ諮問	・ 諮問
	7月26日	令和元年度 第1回環境審議会 (委員12人出席)	・ 基本計画の策定における諮問について
	7月27日	キックオフイベント(中止) 白熱!カードゲームでSDGs!!	・ 台風の接近が予想されたため、11月9日に延期
	8月1日 ～20日	市民アンケート	・ 16歳以上の長久手市民2,000人 ・ 有効回答数462人(回答率23.1%)
	8月21日	第1回市民ワークショップ ～長久手の環境を学ぶ見学会1～ (参加17人)	・ ごみ処理施設 晴丘センターの見学 ・ ワークショップ「私にもできるごみの減量化・資源化」
	9月15日	第2回市民ワークショップ ～長久手の環境を学ぶ見学会2～ (参加20人)	・ 生態系保護エリア東山の谷津田の見学 ・ ワークショップ「生態系の保全に向けて私にもできること」
	9月24日	SDGsカードゲーム(職員対象) (参加31人)	・ SDGsを体感的に学ぶことができるカードゲーム「2030SDGs」を実施
	10月29日	第1回若手職員ワークショップ (参加者13人)	・ 長久手市の目指す環境目標を考えよう
	11月9日	白熱!カードゲームでSDGs!! (一般対象/参加29人)	・ SDGsを体感的に学ぶことができるカードゲーム「2030SDGs」を実施
	11月10日	ながくて市民まつり (参加120人)	・ SDGsサテライトブース「SDGsで〇×クイズ」
	11月30日	第3回市民ワークショップ ～長久手の環境を学ぶ見学会3～ (参加31人)	・ とよたエコフルタウン・ガイドツアー ・ ワークショップ「温室効果ガスの排出抑制に向けて私にもできること」
	12月12日	第2回若手職員ワークショップ (参加者12人)	・ 長久手市の環境対策の取組みを考えよう
	12月16日	環境審議会 作業部会ワークショップ (委員10人出席)	・ 将来に向けて長久手が取り組むべきアイデアを出し合おう!
令和2年 (2020)	1月25日	第4回市民ワークショップ ～長久手の環境を学ぶ見学会4～ (参加29人)	・ IKEA長久手サステナビリティツアー ・ ワークショップ「サステナビリティってなんだろう」
	2月10日	第3回若手職員ワークショップ (参加者12人)	・ 環境の重点プロジェクトを考えよう
	5月15日	令和2年度 第1回環境審議会 ※新型コロナウイルス感染予防のため書面開催	・ 第4次長久手市環境基本計画の基本方針案について
	6月22日	環境審議会 作業部会ワークショップ (委員12人出席)	・ 2025年までの重点的取組を考える

年	月日	取組	議題・内容等
令和3年	7月29日	令和2年度第2回環境審議会 (委員13人出席)	・第4次長久手市環境基本計画骨子案について
	9月24日	令和2年度第3回環境審議会 (委員14人出席)	・第4次長久手市環境基本計画素案について
	1月15日	パブリックコメント説明会 パブリックコメントの募集 (1月15日～2月15日)	・第4次長久手市環境基本計画素案に対する意見を募集
	3月12日	令和2年度 第4回環境審議会 ※新型コロナウイルス感染予防のため書面開催	・第4次長久手市環境基本計画(案)について ・第4次長久手市環境基本計画の答申について
	3月26日	長久手市環境審議会会長から市長へ答申	・答申

(1) 長久手市環境審議会

長久手市環境審議会は、長久手市環境基本条例（平成 12 年 3 月 29 日条例第 16 号）第 13 号の規定に基づき設置しています。

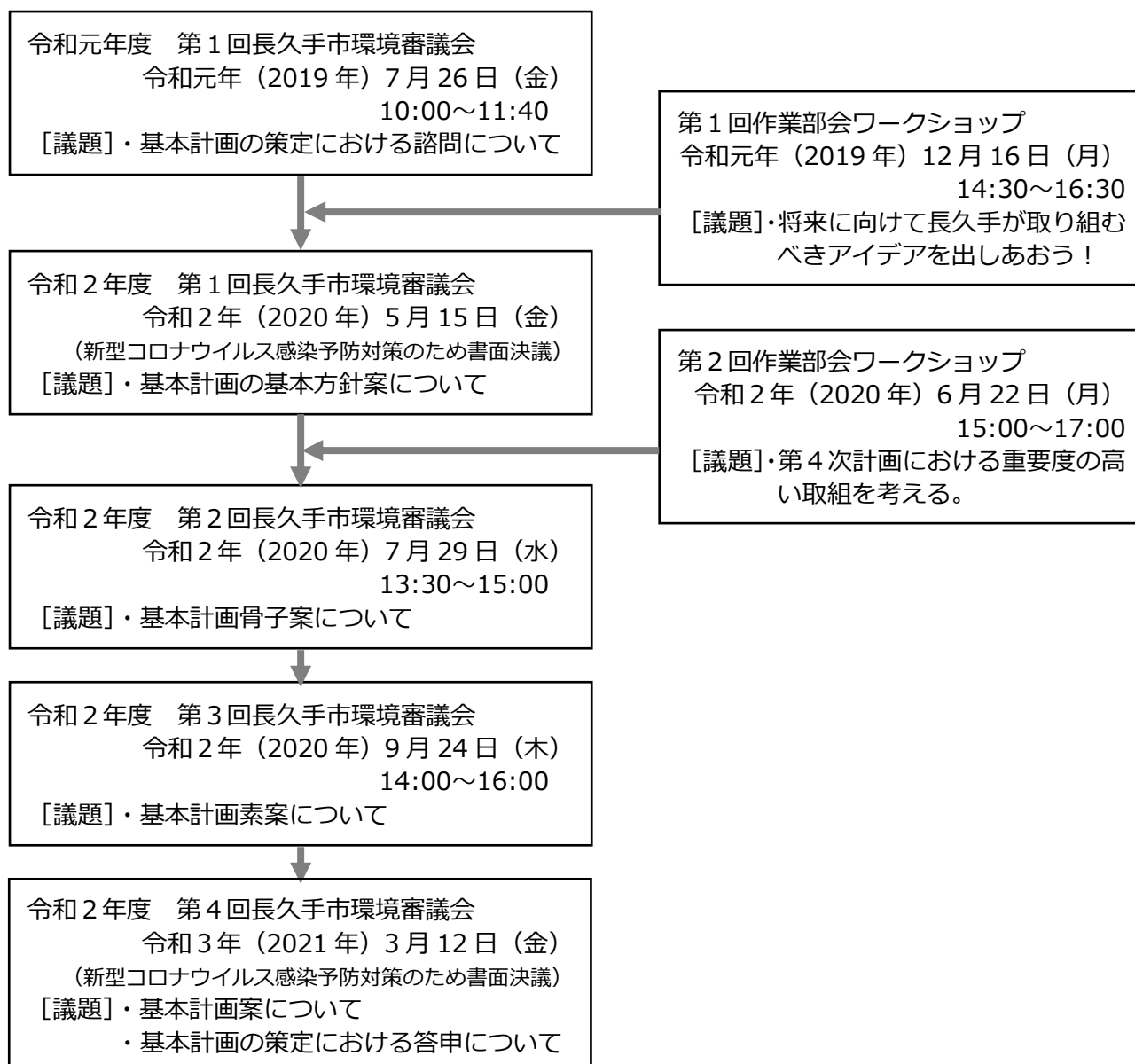
本計画の策定に関しては、令和元年度に 1 回、令和 2 年度に 4 回の審議会を開催しました。また、審議会の作業部会ワークショップを 2 回開催しました。

環境審議会委員名簿

(敬称略)

職名	分野区分	氏名	所属・役職
会長	学識経験者	成田 暢彦	愛知学院大学 非常勤講師
委員	学識経験者	長谷川 明子	公益財団法人 日本生態系協会 評議員
委員	学識経験者	石橋 健一	愛知学院大学 教授（令和 2 年度）
委員	学識経験者	増田 理子	名古屋工業大学 教授（令和 2 年度）
委員	学識経験者	小島 祥美	愛知淑徳大学 准教授（令和元年度）
委員	企業	廣田 賢一	日東工業株式会社
委員	企業	三宅 俊成	あいち尾東農業協同組合（令和 2 年度）
委員	企業	水野 正人	あいち尾東農業協同組合（令和元年度）
委員	企業	森田 直美	株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス(PPIH)
委員	企業	荒川 俊史	株式会社豊田中央研究所（令和 2 年度）
委員	企業	奥村 公平	株式会社豊田中央研究所（令和元年度）
委員	企業	森 広幸	ホーユー株式会社（令和 2 年度）
委員	企業	近藤 久喜	ホーユー株式会社（令和元年度）
委員	企業	Peter Heint	IKEA 長久手（令和 2 年度）
委員	企業	鶴見 紘二	イオンモール長久手（令和 2 年度）
副会長	各種団体	岩淵 準	NEXPO（長久手・万博継承会）
委員	各種団体	水岡 恵子	長久手湿地保全の会
委員	各種団体	吉田 弘美	長久手市商工会（令和 2 年度）
委員	各種団体	三浦 肇	長久手市商工会（令和元年度）
委員	住民代表	森山 輝久	公募委員
委員	住民代表	青木 幸子	公募委員（令和 2 年度）
委員	住民代表	山本 富士子	公募委員（令和元年度）

計画策定にあたっての審議の経緯



審議会の様子



(2) 市民ワークショップ

市民に長久手市の環境施策を知ってもらい、その上で、市民目線で「着実な環境行動」につなげていくためのアイデアや実践方法についての意見を出し合いました。

市民ワークショップ開催の経緯

キックオフイベント 白熱！カードゲームでSDGs!!

令和元年（2019年）7月27日（土）※台風接近のため延期（11月9日開催）

第1回市民ワークショップ（ごみ編）

～晴丘センター見学会～

令和元年（2019年）8月21日（水）

- ・ごみ処理施設「晴丘センター」を見学し、ごみの行く末、ごみの分別や減量の大切さを学びました。
- ・後半のグループワークでは、今取り組んでいること、これから取り組んでいきたいことについて意見を出し合いました。



第2回市民ワークショップ（自然編）

～東山の谷津田の見学会～

令和元年（2019年）9月15日（日）

- ・東山の谷津田を見学し、昔ながらの水田や水路に棲んでいる多様な生き物について学びました。
- ・生物多様性の恵みを享受していくために、私たちにできることについて話し合いました。



白熱！カードゲームでSDGs!!

令和元年（2019年）11月9日（土）

- ・長久手市の環境を考えていくことは、世界のどこかの何かしらの問題を解決できるということを体感していただくために、世界中が取り組む目標 SDGs のカードゲーム「2030SDGs」を行いました。



第3回市民ワークショップ（低炭素編）

～とよたエコフルタウンガイドツアー～

令和元年（2019年）11月30日（土）

- ・「とよたエコフルタウン」のガイドツアーに参加しました。
- ・「とよたエコフルタウン」とは、環境モデル都市に選定されている豊田市が、次世代の環境技術などを集約し、無理なく、無駄のない、快適な暮らしを紹介している低炭素社会モデル地区のことです。



第4回市民ワークショップ（企業編）

～IKEA 長久手サステナビリティツアー～

令和2年（2020年）1月25日（土）

- ・2015年にオープンした IKEA 長久手をたずね、持続可能な未来に向けたイケアの取組を学びました。
- ・イケアはサステナビリティ（持続可能性）を経営理念として掲げる先進企業として有名です。市民の皆さんの期待・関心も高く、定員を大きく上回る応募がありました。



みんなで作る ながくてSDGsの森



(3) 職員向けワークショップ

行政職員の立場から、長久手市の目指す環境像を考えながら、その実現に向けた取組や市民や行政の環境配慮の率先行動を考える機会を作るため、職員研修の一環としてワークショップを開催しました。

導入編 2030 の世界を創る! 国連が全会一致で採択した SDGs をゲームで体験する

令和元年(2019年)9月24日(火)

第1回 ワークショップ 「長久手市の目指す環境目標を考えよう!」

令和元年(2019年)10月29日(火)

- ・長久手市の環境のよい点・悪い点を話し合ったのち、「こんな環境になったいいなあ!」長久手市の環境目標を考えました。

第2回 ワークショップ 「長久手市の環境対策の取組を考えよう!!」

令和元年(2019年)12月12日(木)

- ・地球温暖化対策チーム、廃棄物対策チーム、生物多様性対策チームの3チームに分かれ、環境対策の取組を考えました。

第3回 ワークショップ 「長久手市の環境の重点プロジェクトを考えよう!」

令和2年(2020年)2月10日(月)

- ・第2回ワークショップのアイデアをもとに作成した事前課題を持ち寄り、3つのチームに分かれ、今後重点的に取り組むべきプロジェクトを検討しました。

(4) 市民向け啓発イベント

2019 ながくて市民まつりに、「SDGs サテライトブース」を出展し、SDGs に関する〇×クイズを出題しました。

第4次長久手市環境基本計画は「SDGs の考え方を取り入れる」としており、クイズを通じて、市民一人ひとりに SDGs の意識付けを行いました。



第 4 次長久手市環境基本計画

2021（令和 3）年度～2030（令和 12）年度

令和 3 年 3 月

編集・発行 長久手市（くらし文化部環境課）

長久手市岩作城の内 60 番地 1

電話 0561-63-1111（代表）

ホームページ <https://www.city.nagakute.lg.jp/>

電子メール kankyo@nagakute.aichi.jp

